

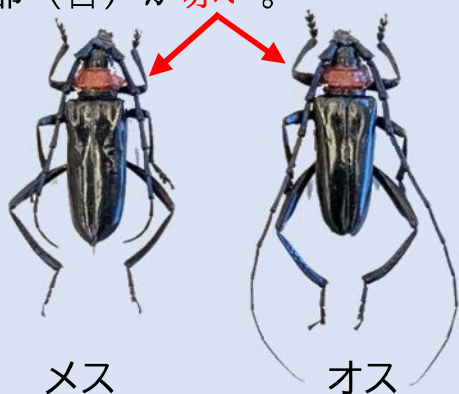
特定外来生物**クビアカツヤカミキリ**にご注意を！
～北区のサクラを伐採の危機からみんなで守ろう～

今年8月に北区で初めてクビアカツヤカミキリの幼虫の食害が確認されました。
被害（生息域の拡大）を防ぐためには、フラス(下記写真)を早期発見
することが大切で、発見が遅れると伐採を余儀なくされます。

最悪の事態を避けるためにも、お近くのサクラ等にフラスが出てないかご確認いただき、万一フラスを発見した場合は、情報提供先へご連絡をお願いいたします。

- クビアカツヤカミキリは、非常に高い繁殖力を持ち、幼虫はサクラ・ウメ・モモ等バラ科の木を食い荒らし枯らしてしまいます。

成虫はからだ全体が黒く光沢があり、胸部（首）が赤い。



体長：2.5～4 cm

幼虫は木の幹からフラス（フンや木くず）を出す。



- **市内の被害** ※先行して被害が出ている洛西地域では前年同時期比で約 10 倍に被害が拡大
令和 6 年度 1 件 令和 7 年度 16 件 令和 8 年度 43 件 計 60 件 (令和 8 年 8 月 17 日現在)

ご自宅の庭や通勤・通学途上等で見かけられるサクラ等にフラスが発生していないかを注意して見ていただくと助かります。成虫またはフラスを発見されましたら、①～③の行動をお願いします。

- ① 成虫は踏みつぶす等して駆除（飼育や生きたままの持ち運びは法規制対象）
- ② 成虫やフラスが出ている状況の写真を撮る
- ③ 京都府または京都市への情報提供

被害拡大防止のため、ご協力お願いいたします。

「情報提供先」

京都市環境保全創造課 TEL：075-222-3951

E-Mail : k-kyosei@city.kyoto.lg.jp

北区役所地域力推進室 TEL：075-432-1208

市ホームページ”



※（参考）府ホームページ

[illegible]